

日精会たより

古河日光退職者の会
日精会
発行責任者 田中一男
編集責任者 大門陽利

月も微笑んだ 和楽踊り

八月一日午後六時アトラクションの始まる直前に雨が上がり、子供たちによるお囃子が始まる頃になると、事前に雨が降ったのにも関わらず、多くの人がが続々来場してきた。

定刻の七時にサイレンが鳴り響いた後、お囃子手の笛が鳴り響き踊りが始まった直前に電飾とイルミネーションが一斉に点灯されると会場全体から大歓声が湧き上って祭りが始まった。

今年は例年になく踊り手の人達が多く市外からや外国人の姿が目立ちこの賑わいが来年以降も続いてくれることを願いつつ空を見上げると、祭りの途中でお月さんも顔を出し微笑んでい



るようであった。

日精会のお休みどころには例年通り開始前から四十人前後の



皆さんが立ち寄り、昔話に花を咲かせたり、しばらくぶりの再会で旧交を温めたり、にぎやかに楽しいひと時を過ごし、途中で和楽踊りコンテストに参加したが「三等賞」であった。

そして、ウチワを利用した地元商店会協賛による豪華な賞品が当たる大抽選会もあり遅くまでにぎわった。

今年は、日光事業所の創業一九周年・行幸啓一二周年記念祭で、これは素晴らしい誇れる伝統行事であり日本一の祭りでもある。

会員状況
7月現在
102名



今年もお祭りの日が来ましたが、雨も上がり涼しく気持ちよく参加する事ができました。毎年、工場や事務所など新しくなり、昔はあんなだったな、こんな感じだったな、などと懐かしく思い出されます。

日精会のテントでは、飲食物の接待が有り、会員の皆さんと会えました。

そして、和楽のお囃子を聞きながらお祭りを楽しむ人々をながめ、伝統ある祭りがこれからも続いてほしいと願っています。日精会も和楽踊りコンテストに連続で入賞してとても素晴らしい事だと思えます。このパワーで来年も入賞できるよう、元気に毎日をすごしましょう。



足尾銅山記念館

古河金属創業百五十周年記念事業の一つとして建設された「足尾銅山記念館」が八月にオープンした。



この記念館は、足尾銅山の歴史や日本の公害の原点とされる足尾鉍毒事件についての展示など「足尾銅山の光と影」を紹介している。

古河グループの創立者「市兵衛」翁の人物像を伝える展示もあり、足尾銅山の閉山後を半世紀にわたり描き続けた「鈴木喜美子」さんの作品も展示されている。

見学はしばらく予約制

入館料 千円

開館時間 9時～16時

(入館受付 15時まで)

休館日 火・水曜日

申込先 0288 25

3800



インゴット



鈴木喜美子さんの絵画

私も先日、見学したが館内の展示品を見ながら、昔の自分を思い出し懐かしいひと時を過ごすことができた。

(大門陽利)

わらくいけ

酷暑と大雨が続く日々でうんざりです。

◇参議院選挙は、物価高・少子化・消費税・社会保険料・外国人問題・関税等で政権選択選挙と揶揄された。自民・公明は衆参両院で過半数を割り、今後の政権運営は関税や物価対策等で停滞を深めそうだが新興勢力の躍進で多党化が進み新時代のステージ感を受ける。選挙公約の少子化・地方活性化に本腰を入れて効果を見せて欲しい。更に「船頭多くして船山に上る。」事の無いようお願いしたい。◇毎日マスコミを賑わすのは、大リーグの大谷選手と日本選手の活躍、そして詐欺被害の報道だ。◇特殊詐欺事件の増加に歯止めが掛からない。今年上半年の被害額は600億円昨年同期の約2.6倍となった。◇普段の生活の中で突然被害が降りかかる身近な問題であり、被害に会えば金銭面と精神的なダメージは拭い去る事は出来ない。詐欺師は平穩に暮らす人々を騙すプロだ。常に進化しオレオレ・架空請求・還付金・ニセ警察官、ニセ広告、訪問販売、点検商法、出張買取等あの手の手で蜘蛛の巣を張り、如何に上手に騙すかを磨いている。◇基本対策はその都度マスコミで報道される詐欺事例を参考に。極力ツールを介した接触は避ける。ターゲットにならないように個人情報漏洩(顔バレ・住所バレ)等の二次被害に注意する。まさかの詐欺被害に会わないように、注意深く、楽しく生活して行きたい。

(M・S)

本部の動向

- ◎ 県退連 とうもろこし狩り 6月28日 中村・吉新 幹事会
- ◎ なんといい地協 塩谷町清掃ボランティア 7月2日 長尾
- ◎ 役員会議 7月5日 田中 他3名
- ◎ 日光和楽踊 日精会お休み処設置 6月26日・7月25日 立ち寄り者 約40名 8月1日

日光紅葉散策と
足尾銅山記念館見学

《歩こうかい部》

◇期日：
10月23日(木)



◇参加費：
5000円(予定)
**申込み締切
9月28日(日)**

芳賀真治 53-1683
上尾宜行 53-0465
荒井重男 22-5590
福田三男 54-3553

募集集中



優勝 高頭東志夫(安良沢)
準優勝 渡辺治夫(安良沢)
三位 竹尾広三(森友)
(部長 薄井和彦)

《将棋部》
六月七日、日光福祉健康セン
ターにおいて、参加者五名でリー
グ戦(同一相手と二回指す)を行
い、いつもながらの楽しいひと
時を過ごした。

《将棋部》

優勝 福田和男(今市南)
二位 齊藤治一(大沢西)
三位 神山敏子(清瀬)
BB 鈴木 治(所野)
BG 根岸俊男(安良沢)
(部長 野原敏雄)

大会が終了したことに感謝いた
します。



《ゴルフ部》
五月十八日 天気
予報では雨であった
が晴天に恵まれ、日
光市民ゴルフ場で、
十名の参加者で熱中
症に注意しながら熱
戦が行われ、和気あ
いあい2ゲームを
実施した。参加者の
皆さんの協力で無事
大会が終了したことに感謝いた
します。

いきいき
部 活

《囲碁部》

六月七日、星部長宅に
おいて、四名の参加者で
昼食をはさみ楽しいひと
時を過ごした。
星 防人 0勝3敗
山崎勇一郎 二勝一敗
齊藤治一 三勝0敗
大門陽利 一勝二敗
(部長 星 防人)



《カラオケ部》

六月十二日、九名の参加者で
今市カラオケ
バンバンにお
いて、軍歌、
演歌などを約
三十曲を楽し
く歌い、特に九十四歳の方の高
齢者とは思えないしっかりした
歌声に一同感心した。
(部長 丹治浩二)



《歩こうかい部》

六月十八日春の歩こうかい部
の行事として
長野県と群馬
県の県境にあ
る「湯の丸高
原」ハイキン
グを実施した。
梅雨時の天候
の心配もあっ
たが「湯の丸



高原つつじ祭り」と重なり満開
のレンゲツツジの湯の丸高原の
スキー場リフトを利用して堪能
できた。参加人数も35名と多数
の参加者を得て大型バスを利用
した遠出となったがトラブル等
もなく時間通りの行程で実施で
きた。
(部長 芳賀 真治)



江田菜穂
(大沢東支部)

湯の丸高原は初め
て訪れる場所でしたので、どん
な体験ができるかと数日前から
心待ちにしておりました。当日
は天候にも恵まれ、リフトから
は一面に広がる緑と心地よい風
を存分に味わうことができました。
高原ではレンゲツツジが見
頃を迎え、鮮やかなオレンジが
とても印象に
残っています。
少し登った東
屋付近でいた
だいた祖母お
手製のお弁当
は、自然の中
で味わうからこそ格別なおい
しさがありません。



広々とした空と爽やかな風、
澄んだ空気に身をゆだねる貴重
なひとときとなり、忙しい日常
から解放され心からリラックス
できた気がします。帰りにはソ
フトクリームをごちそうになる
など、皆様の温かいお心遣いに
触れる場面も多く心に残る一日
となりました。
皆さまと楽しい時間を過ごせ
て本当に良かったと感じていま

す。また機会があれば、ぜひお
邪魔させていただきたいです

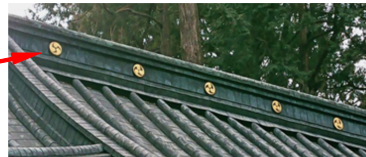
魔除けの社紋「右三つ巴」

日光二荒山神社(本社・本宮・
滝尾)の社紋は「左三つ巴」で
ある。

世界遺産登録25周年を迎えた
「日光の社寺」エリアで、「日光
三社」の一つ、日光二荒山神社
別宮の「本宮神社」の拝殿の屋
根に並ぶ五つの社紋。何十年も
見慣れてきた拝殿だったが、左
端だけなぜか文様が逆さ向きの
「右三つ巴」になっているのには
じめて気が付いた。

見つけたきっかけは、お客様の
ガイド途中で、なぜかこの一
つだけ光具合が特に強く目に写っ
たのである。(発見期日・202
4年9月9日)「そぞろ歩き・日
光の発祥地」数日たって、なぜ
社紋が一つだけ違うのか?・創
建時からなのか?あるいは大火
で焼失後の再建時からか?・そ
の意味は?等々について、謎を
解きたい気持ちが強くなり、関
係する文献などを調べても、日
光二荒山神社本社と、日光の社
寺保存会事務所に向ったが、そ
の理由は不明という。(日光二荒
山神社によると、本宮神社は七
六〇年代後半の創建。建て替え
を経て九〇〇年以上鎮座してい
たが、1684年12月に火災で
焼失し、さかのぼること9カ月
前の同年3月には洪水にも見舞

われていた。今の社殿が建替え
られたのは翌85年である。そこ
で、日光東照宮にある陽明門に
は12本の内1本だけ文様が逆の
柱がある。古くから「建物は完
成と同時に崩壊が始まる」との
いわれがあり「建物の崩壊を止
める呪い術」としてあえて文様
を逆向きにして、未完成にした
と伝わるのが「魔除けの逆柱」
だ。これに着想してみた。



棟梁・職人が陽明門
の「逆柱」を模して
「社紋」を鬼門除け
として一つだけあえ
て逆向きに設け、魔
除けの「逆さ社紋」
にし建物は未だ「未
完成」であることを
表したのではないか?
ちなみに陽明門は、
江戸時代前期には建
てられており、今の
社殿が建てられた一
六八五年と時系列に
矛盾もないことの背
景や、勝道上人ゆかりの「日光
の発祥地」と「日光の社寺」エ
リアの入口に建つ地理的要素も
踏まえれば「鬼門除け」として
あえて逆向きに設けたとしても
不思議ではないと、関係者もう
なずいてくれる。(特に歴史・史
跡に詳しい東照宮の高藤晴俊先
生と直接お会いでき詳しいお話
を聞くことができ感謝申し上げ
る。)

各部行事予定

エリアにはだれにも気づかれて
いない謎がまだまだ眠っている
かもしれません。こんなことを
頭に入れて世界遺産の日光を歩
かれてみるのもいかがでしょう。
以上が新たな「謎解き」とその
「真相」の私的報告です。
これからは魔除けの「右三つ
巴」の紋と呼ぶことにしてみま
せんか・・・
(玄梅正明)

《歩こうかい部》

第2回 10月23日(木)
日光の紅葉散策と
足尾銅山記念館見学
最上段左の募集参照

《ゴルフ部》

日光市民ゴルフ場
参加費10000円
第2回 10月29日(水)

《将棋部》

日光福祉保健センター
第3回 12月13日(土)

《Gゴルフ部》

大谷川グリーンパーク
第2回 10月8日(水)

《囲碁部》

星部長宅
第2回 11月8日(土)

《カラオケ部》

今市カラオケバンバン
12時30分集合
第2回 10月16日(木)

《女性部》

第2回 未定